

第8 就労サポートセンターさつき

1 概況

当事業所の理念である「地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います」に基づき、就労支援に特化した事業所として、就労移行支援事業、就労継続支援A型事業、就労継続支援B型事業及び就労定着支援事業を実施し、利用者が地域において自立した生活を送るための支援や一般就労に必要なスキル習得への支援を行い利用者の確保に努力した。なお、就労継続支援A型事業については、令和4年4月から受託した「青森障害者就業・支援センターすこやか」の効果もあり、利用者が急増したところであるが、利用者に支給する賃金及び令和4年10月から法改正となった社会保険事業主負担額の増加に対して、人員不足のため事業継続の原資となる生産活動収入の増加が計画通り進捗せず、年度末をもって廃止した。

生産活動は、農産・請負班、清掃・請負班、リサイクル班及び就職専科の4班体制で実施した。農産・請負班の水稲事業では、播種から刈取作業まで順調に進捗し、収穫量は約44トン（約748俵）（目標36トン）となり、昨年の34トン（約578俵）を大きく上回り、過去2番目の収穫量となった。このうち、主力品種である「まっしぐら」は、10a当たり（1,000㎡・1反）10俵を収穫した。リサイクル班は、農産・請負班と連携して薪の生産に取り組んだ。清掃・請負班においても、事業所清掃終了後はほたて養殖用資材加工のほか薪生産に取り組んだ。就職専科は、青森障害者就業・支援センターすこやかの効果により令和4年8月から開始し、2人の利用者に対し一般就労に必要なハローワークでの求職活動の方法やリラクゼーション方法について支援した。

就労支援事業収入全体では、給食班を廃止したこと、及び令和3年産の米の収穫量が減少したことの影響を受け、約420万円の収入減となったが、経費削減により利用者の工賃を増額することができた。

地域貢献等については、コロナ感染防止策のため近隣住民との交流活動イベントは実施することができなかったが、平内町の地場産業に貢献する作業を生産活動に組み入れ地域と一体となり事業を展開した。

定員に対する利用率は、コロナ感染防止のための営業停止の影響が大きく、全体で86%（目標90%以上）となった。

令和4年度新規利用者の獲得は、実習等の積極的な受入れにより6人（目標2人）となった。

薪販売総額は、1,919,160円となり前年（2,325,990円）比5%増の目標を下回った。

事業所の収支差額は、新規利用者数及び生産活動収入は増加しているが、配置人員の人員費の関係により、総収入額の1割以上の目標を達成できなかった。

2 重点事項の実施状況

(1) 「青森就業・生活支援センターすこやか」事業の受託

青森県労政・能力開発課の指定を受け、青森労働局より雇用安定等事業、及び青森県障害福祉課より生活支援等事業を受託し、年間26名（目標10名以上）の一般就労を達成した。

(2) 水稲作付面積の拡大

人員不足により拡大計画に必要な人員を投入できず、拡大できなかった。

(3) 福祉サービス第三者評価の受審

令和4年11月22日に受審し、前回受審時「B」評価が25項目だったものが、これ

まで定期的実施してきた「質の向上推進会議」における改善点の具体的な検討により、10項目まで減少した。

(4) 自己評価結果に基づく改善

質の向上推進会議において、令和3年度自己評価結果の改善方針7項目を改善した。

3 職員の状況

職名	所長	副主任 支援員	支援員	事務員	調理員	技能員	運転員	合計 (人)
職員数	1	1	4	2	2	2	3	15

4 利用者の状況

区分	就労移行 支援事業	就労継続支援 B型事業	就労継続支援 A型事業	合計 (人)	就労定着 支援事業(人)
定員	6	17	10	33	
年度当初 利用者数	5 (男4・女1)	22 (男18・女4)	9 (男7・女2)	36 (男29・女7)	3 (男3・女0)
年度末 利用者数	9 (男8・女1)	21 (男17・女4)	11 (男9・女2)	41 (男34・女7)	3 (男3・女0)

※平均年齢（令和4年度末）＝全体：36歳（男性：34歳・女性：46歳）

5 事業の実施状況

(1) 事業概要

① 就労移行支援事業

一般就労を希望する方に、職場実習や一定期間の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行った。

期間	人数	実習場所
7/4	2	㈱ヤマト運輸 青森東支店 平内センター
8/17~8/18	1	ひらないすこやか教室

② 就労継続支援A型事業

一般企業等での就労が困難な方に、雇用して就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

③ 就労継続支援B型事業

一般企業等での就労が困難な方に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

(2) 生産活動の売上状況

(円)

班名	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年比(A-B)
農産・請負班	11,743,033	13,251,938	△1,508,905
清掃・請負班	753,600	753,600	0
リサイクル班	10,535,125	11,007,666	△472,541
給食班	0	2,249,000	△2,249,000
計	23,031,758	27,262,204	△4,230,446

(3) 工賃及び賃金の支給状況

区 分	就労移行支援		就労継続支援B型		就労継続支援A型	
	延人数 (人)	支給金額 (円)	延人数 (人)	支給金額 (円)	延人数 (人)	支給金額 (円)
年間合計	50	1,126,021	269	4,950,658	133	10,697,614
1人当たり 月平均額	4.2	22,520.4	22.4	18,403.9	11.1	80,433.2

注：月途中の契約開始及び解除利用者は除外している。

(4) 就職に向けた取組

月日	人数	見学先
11/30	1	げんねんワークサポート(株)

(5) 余暇支援等（行事関係）

月	レクリエーション（土日開所）	地域交流活動等
4月	・保護者懇談会（16日）	・茂浦地区清掃（16日）
5月	・夜越山クロスカントリー大会（3日） ・調理体験（たこやき作り）（14日） ・春のバーベキュー（21日） ・春の大掃除（28日）	・だいすき海岸清掃奉仕（1日）
6月		
7月	・地引網交流体験（2日） ・大運動会（30日）	・夏泊ほたて海道トンネルマラソン施設開放（17日）
8月	・障害者スポーツ大会事前練習及び映画鑑賞（コロナ感染対策により中止） ・障害者スポーツ大会（コロナ感染対策により中止）	・だいすき海岸清掃奉仕（7日）
9月	・浅虫マラソン大会（11日） ・調理体験（サンドイッチ作り）及び映画鑑賞（24日）	
10月	・アップルワークボウリング大会（コロナ感染対策により中止） ・調理体験（焼きそば作り）及びスポーツ体験（卓球）（コロナ感染対策により中止） ・秋のバーベキュー（29日）	
11月	・大収穫祭（12日） ・調理体験（クレープ作り）及びスポーツ体験（バスケット）（27日）	・だいすき海岸清掃奉仕（1日）
12月	・調理体験（お好み焼き作り）及びスポーツ体験（サッカー）（3日） ・利用者忘年会（10日） ・年末大掃除（24日）	
1月	・カラオケ体験（7日） ・スポーツ体験（フライングディスク）及び映画鑑賞（14日） ・調理体験（焼きそば作り）及びスポーツ体験（ドッチボール）（22日） ・スポーツ体験（ソフトバレー）及び映画鑑賞（28日）	・茂浦青年団権現舞訪問（17日）
2月	・冬のバーベキュー（18日）	

3月	・ 歓送迎会 (25日)	
----	--------------	--

(6) 送迎体制

コース名	行き先
平内町 (野辺地)	小湊、清水川、野辺地
青森市内 (東方面)	小柳、戸山、諏訪沢
青森市内 (山通り)	観光通り、筒井、戸山
青森市内 (浜通り)	青森駅、浪打、八重田

(7) ボランティアの受入れ

土日開所日、大運動会及び大収穫祭において、学生及び地域住民をボランティアとして年間延べ29人受け入れた。

(8) 苦情解決事業等

毎月1回、第三者委員(4人)と面談する機会を設けたほか、随時相談を受ける体制を整備した。なお、実施については虐待防止対応規程と連動し対応した。

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計(件)
受付件数	0	0	0	0	0
解決件数	0	0	0	0	0
繰越件数	0	0	0	0	0

(9) 健康管理

次亜塩素酸ナトリウム水溶液による施設内消毒を実施したほか、うがい薬によるうがいと手洗い及びアルコール消毒を利用者に励行し、また、感染症の流行期間においては、利用者に対して感染症の予防方法など説明するなどして注意を促し、感染の防止に努めた。

新型コロナウイルス蔓延防止対策として、厚生労働省の通知に基づき、毎朝自宅において検温し、発熱していないことを確認してから送迎車両に乗ることを徹底した。事業所では外部の訪問者は玄関までとし、事業所内はすべて職員が中継して対応した。

(10) 安全管理・防災対策

火災による避難訓練を年2回(8月18日、2月21日)実施し、利用者の安全確保に努めた。

(11) 所内会議等

会議名	回数
質の向上推進会議	年4回
給食会議	毎月1回
事業所会議	毎月1回

(12) 職員研修関係

事業所内での勉強会や法人内他部署での実地研修をはじめ、県内で実施する各種研修等に職員を派遣した。

また、支援技術や生産技術の向上を図るための専門的な研修へも積極的に派遣した。

(13) 広報関係

- ① パンフレット・事業概要作成配布
- ② 広報紙「でんでん」年3回発行配布
- ③ ホームページ開設
- ④ 見学者(養護学校教諭・生徒)の積極的な受入れ

(14) 放課後子ども教室（平内町からの受託事業）の運営状況

- ① 営業日 毎週月～金曜日
- ② 営業時間 14:30～18:00（ただし、小学校長期休業期間は 8:00～17:00）
- ③ 利用契約者 25 人
- ④ 協働活動支援員 5 人
- ⑤ 地域コーディネーター 1 人

【令和 4 年度の実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数 (A)	20	19	22	19	16	19	14	20	19	17	16	21	222
	20	18	22	19	20	20	21	19	20	17	18	22	236
延利用者数 (B)	105	74	81	132	175	63	42	63	84	101	38	110	1,068
	120	84	101	142	213	104	99	84	114	144	45	112	1,362
1日当たりの 平均利用者数 (B÷A)	5.3	3.9	3.7	6.9	10.9	3.3	3.0	3.2	4.4	5.9	2.4	5.2	4.8
	6.0	4.7	4.6	7.5	10.7	5.2	4.7	4.4	5.7	8.5	2.5	5.1	5.8

※上段：当年度、下段：前年度

(15) 青森障害者就業・生活支援センターすこやか事業

就業及びそれに伴う日常生活上の支援を必要とする障害のある方に対し、センター窓口での相談や職場・家庭訪問等を 2, 236 件実施した。

① 就業面での支援

就業に向けた準備支援（職業準備訓練及び職場実習のあっせん）を 49 件及び障害のある方それぞれの障害特性を踏まえた雇用管理についての事業所に対する助言を 136 件（542 回）件実施したほか、関係機関との連絡調整を随時行った。

② 生活面での支援

日常生活及び地域生活に関する助言を随時行ったほか、関係機関との連絡調整を随時行った。